

平成29年度 鳥取大学第2回経営協議会 議事要旨

日 時 平成29年9月22日（金） 13:30 ～ 14:50
場 所 鳥取大学事務局棟 第一会議室
出席者 (学外) 魚谷, 永井, 西山, 長谷川, 松本, 宮崎, 吉岡の各委員
(学内) 豊島, 中島, 杢見, 細井, 香川, 法橋, 原田の各委員
陪席者 田中監事, 安延副学長, 藤井地域学部長, 廣岡医学部長, 河田工学
研究科長

<新任委員の紹介>

議事に先立ち、議長より、新任委員となる公立鳥取環境大学副理事長西山信一氏の紹介が行われた。

議事要旨の承認

前回（平成29年6月26日開催、平成29年度第1回）の議事要旨について、委員からの意見に基づき一部修正の上、承認した。

議 題

1. 学長選考会議委員の選出

資料1に基づき、学長選考会議委員の選出について、公立鳥取環境大学副理事長西山信一氏を学長選考会議委員として選出する旨説明があり、審議の結果承認した。

報 告

1. 平成30年度概算要求

資料2に基づき、平成30年度概算要求について説明があり、前回の経営協議会で方向性を承認後正式に概算要求を行ったこと、及び文部科学省から財務省に提出された概算要求事項及び要求額について報告があった。

2. 平成28事業年度財務諸表の承認

資料3に基づき、平成28事業年度財務諸表の承認を受けた旨の報告があった。

3. 平成29年人事院勧告

資料4に基づき、平成29年人事院勧告について、民間給与との較差を埋めるため棒給表の水準を引き上げること、及び若年層を中心に平成27年に抑制された昇給を回復させるとの内容であることと、今後、国の動きや他大学の状況

も見つつ検討することになる旨の説明があった。

— 委員からの主な発言 —

- ◇ 本学が行っている事業のうち、将来性が見込めない事業分を人件費に回せないのかとの質問があり、定数削減による人件費の削減は長期的な計画としてしているところではあるが、基本部分を引き上げられると影響があること、また、大学では無駄なところであってもある程度の維持が必要となるため、これらを考慮しつつ検討していきたい旨の発言があった。

4. 大学院連合農学研究科の改組

資料5に基づき、文部科学省に再提出した大学院連合農学研究科の改組にかかる事前伺いについて、平成29年8月17日付け事務連絡「事前伺いの結果について」により、設置報告書の提出による設置が可能となったこと及び改組の概要について報告があった。

5. 地域価値創造研究教育機構の設置

資料6に基づき、地域価値創造研究教育機構を平成29年10月より設置すること及び同機構の概要等について報告があった。

— 委員からの主な発言 —

- ◇ 本機構設置による具体的な成果の見込みについて質問があり、具体的なプラン設定の提示は難しいが、自身で地域の問題を考え課題解決に取り組むことができる人材の育成を目指す旨回答があった。
また、本機構に対し、地方創生の拠点として、高レベルの相談に対応可能な機関となることを希望する旨の発言があった。

6. その他

- ◇ 資料7に基づき、最近の地域貢献の取組みについて説明があった。
- ◇ 委員より、とっとりバイオフィロンティア関連の新聞記事紹介とともに、新規事業はなかなか評価に繋がりにくいという点もあるが、まずは挑戦が必要である旨の発言があった。
- ◇ 委員より、本学と鳥取県警が締結した連携包括協定にかかる今後の展望について質問があり、学生への教育やサイバー犯罪対策のほか、県警が考える課題と本学の研究課題で共通するものにかかる共同研究を通して協力していく旨の回答があった。

- ◇ 委員より、畜産関係の研究状況について質問があり、現在鳥取大学では民間企業と畜産牛の人工授精着床率上昇を目指した装置開発の共同研究を行っている旨の回答があり、また、委員から、その研究により、食をキーワードとして県内産業の後押しへと繋がることを希望する旨の発言があった。

- ◇ 資料8に基づき、次回の経営協議会を11月24日に開催予定である旨説明があった。